

**令和7年度広島県カーボン・サーキュラー・エコノミー推進業務
公募型プロポーザル選定委員会（議事要旨）**

項 目		内 容
1	日 時	令和7年4月4日（金） 10時00分から10時45分まで
2	開催方法	オンライン形式
3	出席委員	・ 畠 正和 （広島県商工労働局環境・エネルギー産業課長） ・ 河村 敏成 （広島県環境県民局環境政策課長） ・ 門永 吉章 （広島県商工労働局イノベーション推進チーム イノベーション環境整備担当課長） ・ 崎本 龍司 （広島県商工労働局イノベーション推進チーム 地域産業デジタル化推進担当課長） ・ 出射 太 （広島県商工労働局自動車・新産業課長）
4	議 題	令和7年度広島県カーボン・サーキュラー・エコノミー推進業務の 企画提案内容の審査
5	担当部署	広島県商工労働局環境・エネルギー産業課
6	開催方法	オンライン
7	議事内容	1 審査方法 提案された企画提案書を基にプレゼンテーションを行い、選定委員会において審査の上、最優秀提案者を選定した。 2 審査対象者（提案書受理順、最優秀提案者：(◎)） A社 公益財団法人中国地域創造研究センター (◎) 3 審査結果 (1) 審査対象者の評価値 別紙のとおり (2) 提案者に対する意見（審査項目毎の主な評価・選定理由） 【遂行能力】 ・ 専門的な知見が豊富で、産業事情を的確に把握し、多様な技術領域に柔軟に対応できると評価された。 ・ 企業、大学、他県などとの幅広いネットワークを有していると評価された。 ・ カーボンリサイクル分野について、最新の知見や専門人材を有しており、プロジェクトの遂行能力は十分であると評価された。 ・ 大手企業のみならず、中小企業への働きかけに工夫がある点が評価された。 【企画提案】 ・ 国内の事業者同士の取組・連携の提案が中心であり、海外の環境関連スタートアップとのマッチングの工夫が必要であると評価された。 ・ 県内中小企業も視野に入れた提案となっており、マッチングの活性化が期待できると評価された。 ・ 県内企業の技術・アセットを踏まえた期待感のあるワーキングの組成について提案されている点を評価された。 【実施体制等】

		・実施体制、スケジュールともに、無理がない内容となっている点を評価された。 【総括】 ・大学、企業等の幅広いネットワークを有していることに加えて、県内製造業・中小企業への波及を含めた提案内容になっており、円滑な業務推進が期待できると評価された。
--	--	---